

株主メモ

決算期日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

名義書換代理人 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載紙 日本経済新聞
なお、日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書の開示は、当社ホームページに掲載しております。
<http://www.veriserve.co.jp/ir/kessan/>

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ市場
証券・銘柄コード 3724

株式会社 ベリサーブ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
TEL 03-5909-5700 (代表)

※Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
※その他の登録商標及び商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。



第5期 中間事業報告書

2005年4月1日～2005年9月30日

株式会社 ベリサーブ

Web site information ホームページのご案内

当社のホームページで事業内容、ニュースリリース、IR情報等の様々な情報をタイムリーにご確認いただけます。ぜひ、ご覧ください。

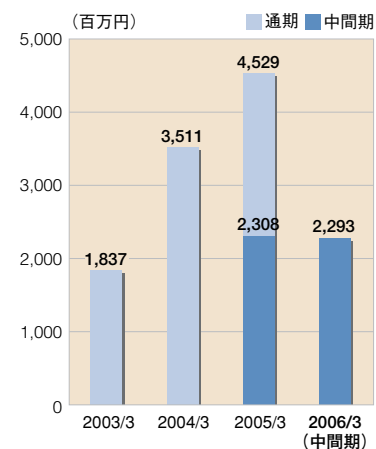
<http://www.veriserve.co.jp/>



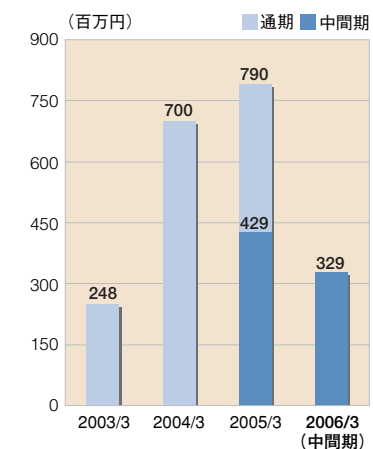
verification service

決算ハイライト

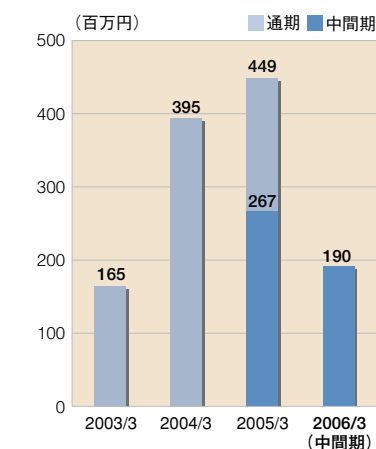
売上高



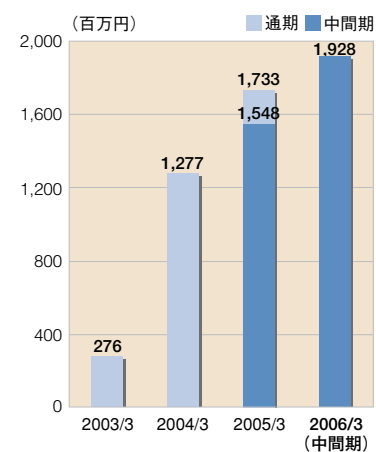
経常利益



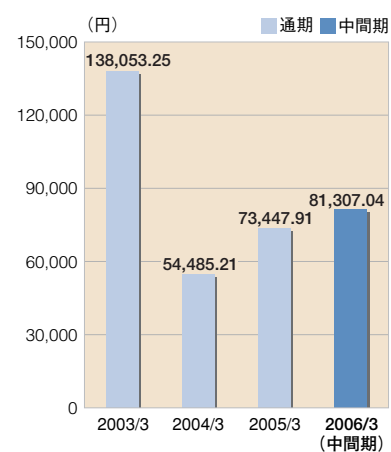
当期純利益



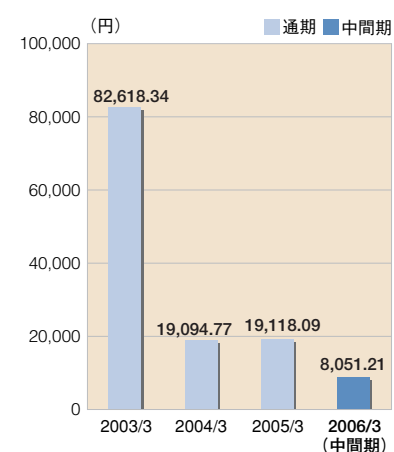
株主資本



1株当たり株主資本



1株当たり当期純利益

代表取締役社長
浅井 清孝To Our Shareholders
株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

ここに、第5期（2006年3月期）中間期の業績についてご報告申し上げます。

当社を取り巻く環境といたしましては、デジタル化の進展は、分野別にはその速度にバラツキを生じるようになってきており、特に情報家電分野ではIT製品の在庫調整により、製品開発計画の見直しなどがあり、依然として不透明な状況にあるといえます。

このような中、ソフトウェアのシステム検証業務を主力サービスとする当社の当中間期の業績は、前中間期（第4期）と比べ厳しいものとなっておりますが、売上高2,293百万円、経常利益329百万円、中間純利益190百万円と期初に発表した計画に沿った水準となりました。サービス対象分野では、デジタルAV機器に加え、カーナビゲーション・システムなどを中心としたITS関連分野、新製品が活発に投入されている携帯電話分野に拡大し、顧客バランスもとれてきています。

IT機器メーカー各社では製品開発のスピードアップとコストダウンという相反する命題に直面しており、当社としては、従来の動的検証業務に加えて、開発工程における静的検証サービスの提供や不具合モード分析を核としたコンサルティングなどを提供することで、より幅広く製品開発を支援しながら、業容を拡大していく所存でございます。

株主の皆様には、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

事業を探る Vol.2

Question 組込ソフトウェアというものはどのようなソフトウェアなのですか？

Answer

例えば、身近なところで申しますと、携帯電話では、電子メールやインターネットからの情報を得たり、デジタルカメラで撮影するなどの機能が搭載されていますが、これを制御するのにソフトウェアを利用しています。このように様々な製品に搭載され、機能を提供しているソフトウェアを「組込ソフトウェア」といって

おります。近年では、様々な製品に搭載されるようになり、テレビ、ビデオ、デジタルカメラ、プリンタ、複写機、携帯電話、自動車など身の回りにあるほとんどの機器に膨大な組込ソフトウェアが搭載されるようになってきています。当社では、特に、製品開発の拡大している分野を中心にビジネスを展開しております。

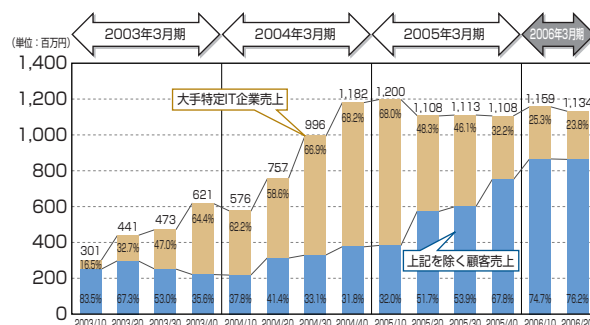
Question 成長率が鈍化しているのではないですか？

Answer

当中間期は、売上高2,293百万円で前中間期に比べ減少しておりますが、売上高の中身は大きく改善してきています。前々期、前期と大手特定IT企業に対する売上高が大きなウエイトを占めており、総売上に占めるその割合が前々期 6割超、前期 約5割となっております。当社の売上高が大きく伸びた要因もありますが、その反面、特定の顧客1社に偏るリスクもあり、当社としては様々な分野の顧客を開拓することで、安定的な成長を図ってまいる考えで、前期より顧客開拓を進めてまいりました。

その結果、業績推移（四半期ベース）に示すように、大手特定IT企業の割合が2割超となりました。当初の予定通り、事業リスクの分散を図ることができていると認識しています。当社といたしましては中長期での新たな成長の基盤は整備されつつあると考えております。

■業績推移（四半期ベース）



Question 会社の知名度を上げていくような取り組みは？

Answer

システム検証事業の認知度を上げていくために、当社では毎年システム検証セミナーを開催しております。これには、当社だけでなく、メーカーの方々やソフトウェアテストツールのベンダーの方々、また検証という分野に積極的に取り組まれている企業などのご協力をいただきながら、ソフトウェア検証の重要性についてご説明いただき、どのようなアプローチをして

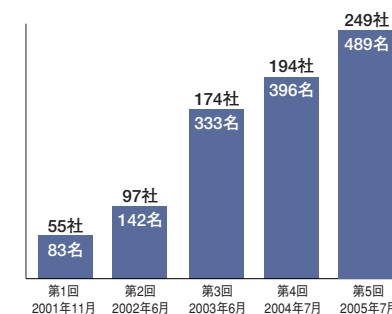
いるかなどを発表させていただく場を設けております。

今年も東京コンファレンスセンター品川にて、去る7月14日に開催させていただきました。参加者の数は年々増加しており、今年は249社・489名のご出席をいただきました。

また、検証事業に積極的に取り組まれている会社と、IT機器やシステムの開発に携わる企業や団体・個人が参

画し、より高品質で高信頼性のソフトウェア開発を支援するIT検証サービスを実現し、社会に貢献していくことを目的とした「IT検証産業協会」を10月20日に設立し、今後、検証事業を産業化するための活動を推進していく考えです。

■システム検証セミナーの参加者数



●西新宿三井ビルに本社を
移転いたしました。

9月5日より下記住所に移転しました。
〒160-0023
東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
西新宿三井ビル14F



中間決算のご報告

事業部門の概況

当中間期の概況

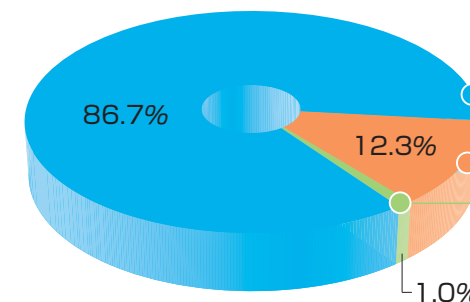
当中間期におけるわが国経済は、国内景気は概ね回復基調と見られ、原油高および中国人民元の引き上げ等の懸念材料はあるものの、全般的には堅調に推移いたしました。

当社を取り巻く環境といたしましては、デジタル化の進展は分野別にはその速度にバラツキを生じるようになってきており、特に情報家電分野では、前期に引き続き各メーカーはIT製品の在庫調整により、製品開発計画の見直しを余儀なくされ、依然不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社のIT製品の組込ソフトウェアを検証する「システム検証」事業は、特定大手IT企業に対する売上高の減少により、全体としての成長率は鈍化したものの、当該企業以外の売上高は、前年同期に比べ、約7割強増加させることができました。これは多機能化するカーナビゲーション・システム等のITS分野と、世代交代を迎え新製品開発が活況となった携帯電話分野が大きく業績に貢献したことによるものです。

以上の結果、当中間期の売上高は、2,293,051千円（前年同期比 0.7%減）となりました。また、本社移転に伴う什器備品の購入等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は328,145千円（同 23.3%減）、経常利益は329,999千円（同 23.1%減）となりました。

これらの結果、中間純利益は190,145千円（同 28.8%減）となりました。



セキュリティ検証サービス

セキュリティ検証サービスは、顧客の社内システム及びインターネット経由で公開するホームページ、あるいは電子商取引用のインターネットシステム等に対し、スケーラビリティ・テストング・サービス (STS) として、負荷の許容量を調査するサービスで、売上高23,235千円（前年同期比33.5%増）となりました。

売上高 **23** 百万円 (前年同期比 33.5%増)

その他のサービス

その他のサービスにつきましては、製品検証サービスやセキュリティ検証サービスに分類されない検証業務や顧客企業内でのシステムインフラの構築やシステム開発及び社内システム保守・運用に関するサービスを提供しております。当中間期においては、他の事業部門に分類されない検証業務の中に含まれるWEBシステム関連のアプリケーション検証業務が増加し売上高は281,567千円（前年同期比59.4%増）となりました。

売上高 **281** 百万円 (前年同期比 59.4%増)

製品検証サービス

当社の主力事業であります製品検証サービスのうち、開発支援検証サービスは総売上上の81.5%を占めており、顧客である国内メーカーにおける開発中のデジタル製品及び組込ソフトウェアを、当該顧客の規模や製品の特性に応じて、個別に検証するサービスであります。当中間期はカーナビゲーション・システムを中心としたITS関連機器、携帯電話等の検証が増加しております。これらにより、売上高は1,869,340千円（前年同期比6.0%減）となりました。また、認定支援サービスにつきましては、米国マイクロソフト社の承認を必要とするDesigned for Windows® ロゴ取得の支援サービスの対象製品が増加し、売上高は97,654千円（同7.2%減）となりました。検証情報サービスは検証対象のデジタル製品・組込ソフトウェアを様々なパソコンやパソコン周辺機器等と組み合わせて使用した場合の動作確認情報の提供及び様々なメーカーのパソコン等と検証対象のデジタル製品との接続確認が可能なITプラットフォームテストセンターを時間単位で提供するサービスであり、売上高は21,313千円（同10.1%増）となりました。以上の結果、製品検証サービスの売上高は1,988,308千円（同6.0%減）となりました。

売上高 **1,988** 百万円 (前年同期比 6.0%減)

開発支援検証サービス	1,869百万円	(前年同期比 6.0%減)
認定支援サービス	97百万円	(〃 7.2%減)
検証情報サービス	21百万円	(〃 10.1%増)

中間財務諸表

中間貸借対照表（要旨）

単位：千円

科目	当中間期 2005/9/30現在	前中間期 2004/9/30現在	前期 2005/3/31現在
資産の部			
流動資産	2,269,808	2,090,216	2,409,730
現金及び預金	1,572,255	1,388,993	1,670,997
売掛金	635,541	641,040	645,972
たな卸資産	6,122	14,815	11,438
繰延税金資産	41,337	39,407	74,314
その他	14,552	5,959	7,005
① 固定資産	252,508	86,715	105,325
有形固定資産	35,569	29,276	32,628
無形固定資産	49,948	35,249	40,882
投資その他の資産	166,990	22,189	31,813
資産合計	2,522,317	2,176,931	2,515,055

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ①

固定資産

前期末に比べて147,183千円増加し、対前期末比139.7%増の252,508千円となりました。これは、主に本社移転に伴う敷金保証金と社内システム構築によるソフトウェアの増加によるものです。

POINT ②

流動負債

前期末に比べて185,260千円減少し、対前期末比24.6%減の568,384千円となりました。これは、主に買掛金及び未払法人税等の減少によるものです。

POINT ③

固定負債

前期末に比べて2,407千円減少し、対前期末比8.7%減の25,411千円となりました。これは、主に退職給付引当金が減少したことによるものです。

中間損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	当中間期 2005/4/1~2005/9/30	前中間期 2004/4/1~2004/9/30	前期 2004/4/1~2005/3/31
売上高	2,293,051	2,308,073	4,529,032
売上原価	1,566,025	1,540,049	3,035,325
売上総利益	727,026	768,024	1,493,706
④ 販売費及び一般管理費	398,880	340,126	709,678
営業利益	328,145	427,897	784,028
営業外収益	2,010	1,287	6,792
営業外費用	156	71	325
経常利益	329,999	429,113	790,495
特別利益	—	32,038	32,038
⑤ 特別損失	2,215	—	37,400
税引前中間(当期)純利益	327,784	461,152	785,134
法人税、住民税及び事業税	106,000	171,000	347,000
法人税等調整額	31,638	22,924	△ 11,599
中間(当期)純利益	190,145	267,228	449,733
前期繰越利益	1,021,367	571,633	571,633
中間(当期)末処分利益	1,211,512	838,861	1,021,367

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ④

販売費及び一般管理費

前中間期に比べて販売費及び一般管理費が58,754千円増加しております。主な要因としては、本社移転に伴う什器備品の購入を経費処理したことによるものです。

POINT ⑤

特別損失

2,215千円を計上しております。これは本社移転に伴う固定資産の除却の為、計上したものです。

POINT ⑥

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは152,604千円の減少となりました。これは主に敷金保証金の支払（133,838千円）により減少したことによるものです。

中間キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	当中間期 2005/4/1~2005/9/30	前中間期 2004/4/1~2004/9/30	前期 2004/4/1~2005/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,234	90,146	393,573
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 152,604	△ 15,063	△ 38,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,628	4,466	6,398
現金及び現金同等物の増減額(△減少額) △	98,742	79,548	361,553
現金及び現金同等物の期首残高	1,670,997	1,309,444	1,309,444
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,572,255	1,388,993	1,670,997

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

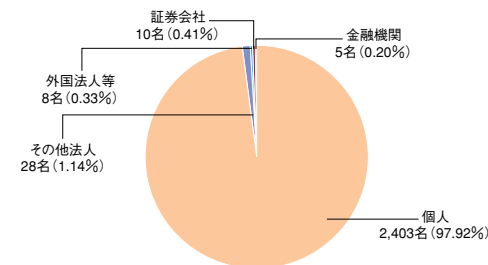
株式の概況 (2005年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数64,000株
- 発行済株式総数23,719株
- 株主数2,454名

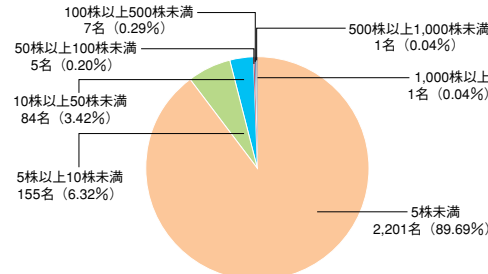
■大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社CSK	15,200	64.08
ベリサーブ従業員持株会	826	3.48
浅井清孝	400	1.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	384	1.62
ザバンクオブニューヨーク・ノートリーティー・ジャステック アカウト	179	0.75
エイチエスピーシー ファンド サービススクライアantz アカウト006	176	0.74
資産管理サービス信託銀行株式会社	168	0.71
松井証券株式会社 (一般信用口)	161	0.68
ザチースマンハッタンバンク・エスイー・ロンドン・エス・エル・コム・エス アカウト	159	0.67
大阪証券金融株式会社 (業務口)	91	0.38

■所有者別株主分布状況



■所有数別株式分布状況



会社概要 (2005年9月30日現在)

■商号 株式会社 ベリサーブ

VeriServe Corporation

■本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
西新宿三井ビル14F

■設立 2001年7月24日

■資本金 366百万円

■従業員数 113名

■事業内容 製品検証サービス：
IT関連製品（ハードウェア、ソフトウェア）のシステム検証
セキュリティ検証サービス：
ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証
その他サービス

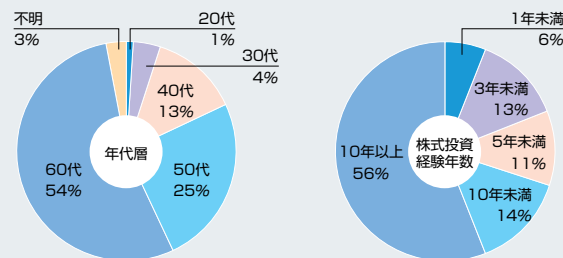
■役員

代表取締役社長	浅井清孝
常務取締役	北谷利之
取締役	高橋豊
取締役	加治屋知和
取締役	有賀貞一
取締役	鈴木孝博
取締役	加藤一夫
監査役	前田徹
監査役	熊崎龍安

>>> 株主アンケートのご報告

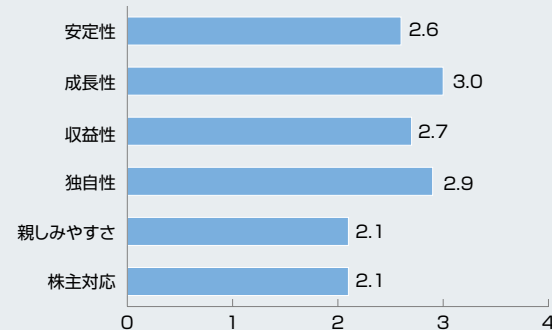
当社では、第4期事業報告書においてアンケートをお願いしました。おかげさまで多数のご回答をいただき、深く感謝しております。アンケート結果要旨につきご報告いたします。

回答者のプロフィール

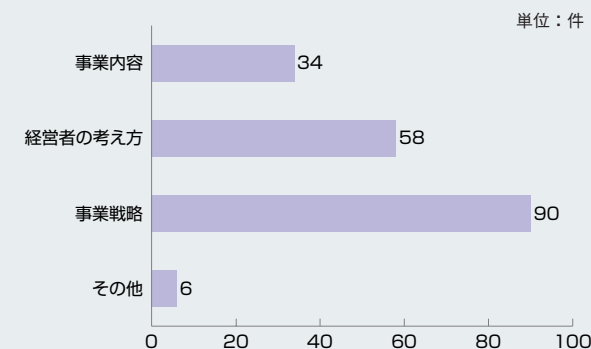


●当社に対するイメージ

1 非常に低い ↔ 4 非常に高い



●当社についてお知りになりたいこと (複数回答)



●事業報告書で興味を持った内容 (複数回答)

